

年間授業計画

第四商業 高等学校（2学年用）

教科： 商業

科目 原価計算

単位数： 3 単位

◆対象学年組： 2 学年 A 組～

E 組

◆教科担当者（A組～E組）

◆使用教科書（原価計算 実教出版720

◆教科 商業 の目標：

【知識及び技能】： 商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。

思考力、判断力、表現力等】： ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

学びに向かう力、人間性等】： 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

◆科目 原価計算 の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|--|
| 原価計算、原価計算に関する会計処理及び原価情報の活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 | 原価計算、原価計算に関する会計処理及び原価情報を活用する方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。 | 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力及び適切な原価管理を行う力の向上を目指して自ら学び、適切な原価情報の提供と効果的な活用に向けた主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配 当 時 数 | |
|-------------|--|--|---|---|---|------------------|----|
| 1 学期 | 第1編 原価計算の基礎 1. 原価と原価計算 2. 原価計算のあらまし 3. 工業簿記－製造業における簿記－ 第2編 原価の費目別計算 1. 材料費の計算と記帳 | <ul style="list-style-type: none"> 工業簿記は製造業に適用されるものであることを理解させる。 原価の意味を理解させる。 原価要素の集計のしかたと原価計算表の役割を理解させる。 原価計算の種類を理解させる。 工業簿記の一連の記帳手続きを学習させることにより、全体的な構造を理解させる。 材料費の分類とその内容を理解させる。 材料の仕入れと記帳方法、元帳への転記を理解させる。 材料の消費と記帳方法、原価元帳への記入方法について理解させる。 | <ul style="list-style-type: none"> 工業簿記は製造業に適用されるものであることを理解している。 原価の意味を理解している。 原価要素の集計のしかたと原価計算表の役割を理解している。 原価計算の種類を理解している。 工業簿記の一連の記帳手続きを学習したことにより、全体的な構造を理解している。 材料費の分類とその内容を理解している。 材料の仕入れと記帳方法、元帳への転記を理解している。 材料の消費と記帳方法、原価元帳への記入方法について理解している。 | ○ | ○ | ○ | 15 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | 第2編 原価の費目別計算 2. 労務費の計算と記帳 3. 経費の計算と記帳 第3編 原価の部門別計算と製品別計算 1. 個別原価計算 2. 部門別個別原価計算 | <ul style="list-style-type: none"> 労務費の分類とその内容を理解させる。 賃金支払高の計算と記帳方法を理解させる。 賃金消費高の計算と記帳方法を理解させる。 経費の意味とその分類を理解させる。 経費の消費高の計算と記帳方法を理解させる。 個別原価計算のしくみを理解させる。 原価計算表の記入方法を理解させる。 原価元帳と製造勘定の関係を理解させる。 製造間接費の配賦についての概要を理解させる。 仕損品、作業くずの処理を理解させる。 部門別個別原価計算の必要性を理解させる。 部門別個別原価計算の手続きの全体の流れを理解させる。 部門費配分表、部門費振替表を完成させ、それぞれにもとづく仕訳を理解させる。 | <ul style="list-style-type: none"> 労務費の分類とその内容を理解している。 賃金支払高の計算と記帳方法を理解している。 賃金消費高の計算と記帳方法を理解している。 経費の意味とその分類を理解している。 経費の消費高の計算と記帳方法を理解している。 個別原価計算のしくみを理解している。 原価計算表の記入方法を理解している。 原価元帳と製造勘定の関係を理解している。 製造間接費の配賦についての概要を理解している。 仕損品、作業くずの処理を理解している。 部門別個別原価計算の必要性を理解している。 部門別個別原価計算の手続きの全体の流れを理解している。 部門費配分表、部門費振替表を完成させ、それぞれにもとづく仕訳をマスターしている。 | ○ | ○ | ○ | 20 |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 | |
| 2 学期 | 第3編 原価の部門別計算と製品別計算 3. 総合原価計算 4. 工程別総合原価計算 5. 総合原価計算における減損と・仕損じなどの処理 | <ul style="list-style-type: none"> 個別原価計算と総合原価計算の違いを明らかにする。 総合原価計算の種類を理解させる。 月末仕掛品原価の計算をマスターさせ、総合原価計算表の作成と記帳方法を理解させる。 工程別総合原価計算の意味と目的、手続きについて理解させる。 工程別原価計算の手続きと記帳方法を理解させる。 半製品の意味と半製品がある場合の記帳方法について理解させる。 減損、副産物、作業くず、仕損品の意味と、それぞれが発生した場合の記帳方法を理解させる。 | <ul style="list-style-type: none"> 個別原価計算と総合原価計算の違いを明らかにできる。 総合原価計算の種類を理解している。 月末仕掛品原価の計算をマスターし、総合原価計算表の作成と記帳方法を理解している。 工程別総合原価計算の意味と目的、手続きについて理解している。 工程別原価計算の手続きと記帳方法を理解している。 半製品の意味と半製品がある場合の記帳方法について理解している。 減損、副産物、作業くず、仕損品の意味と、それぞれが発生した場合の記帳方法を理解している。 | ○ | ○ | ○ | 20 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | 第4編 製品の完成・販売と決算 1. 製品の完成と販売 2. 決算と本社・工場間の取引 第5編 標準原価計算の基礎 1. 標準原価計算（その1） 2. 標準原価計算（その2） | <ul style="list-style-type: none"> 製品の完成と販売に伴う手続きと記帳方法を理解させる。 販売費及び一般管理費の記帳方法を理解させる。 工場会計の独立と、その記帳方法を理解させる。 財務諸表の特色を理解させ、製造原価報告書の作成に習熟させる。 標準原価計算の意義と特色、全体的な流れを理解させる。 完成品と仕掛品の標準原価による計算方法を理解させる。 原価差異の計算とその分析方法を理解させる。 | <ul style="list-style-type: none"> 製品の完成と販売に伴う手続きと記帳方法を理解している。 販売費及び一般管理費の記帳方法を理解している。 工場会計の独立と、その記帳方法を理解している。 財務諸表の特色を理解し、製造原価報告書の作成に習熟している。 標準原価計算の意義と特色、全体的な流れを理解している。 完成品と仕掛品の標準原価による計算方法を理解している。 原価差異の計算とその分析方法を理解している。 | ○ | ○ | ○ | 25 |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 | |
| 3 学期 | 第6編 直接原価計算の基礎 1. 直接原価計算（その1） 2. 直接原価計算（その2） | <ul style="list-style-type: none"> 直接原価計算の意義と特色を理解させる。 直接原価計算が利益計画に適している理由を理解させる。 CVP分析や損益分岐図表により、売上高、原価、利益の関係を理解させる。 | <ul style="list-style-type: none"> 直接原価計算の意義と特色を理解している。 直接原価計算が利益計画に適している理由を理解している。 CVP分析や損益分岐図表により、売上高、原価、利益の関係を理解している。 | ○ | ○ | ○ | 20 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |

合計
105